

インフルエンザ予防接種を受けられる方へ

インフルエンザと予防接種の有効性



インフルエンザとは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。普通のかぜに比べて全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することが多いのが特徴です。毎年、インフルエンザが流行する前に予防接種を受けておくことが、発病や重症化を防ぐためには重要です。

一般的には、13歳以上の方は1シーズンに1回の予防接種、13歳未満の方は2回の予防接種で効果があるとされます。

○令和4年度 ワクチンの目的と効果について

平成27年度よりインフルエンザワクチン製造株は、A型株2種、B型株2種の計4種類のウイルス株で構成された4価ワクチンに変更され、近年流行しているインフルエンザに対応した内容になりました。ワクチンの接種は本人の希望により行われ、主に個人の重症化防止を目的としています。重症化や合併症の発病を予防する効果は証明されており、高齢者については、接種しなかった場合に比べて死亡の危険を1/5に、入院の危険を1/3～1/2に減少させることが期待できます。

ワクチンの予防効果が現れるのは、接種後2週間から5ヶ月程度と考えられています。

○ワクチンの回数および量

13歳以上の方は実施期間中に1回です。

3歳以上の方には1回0.5mlを、3歳未満の方には1回0.25mlを皮下に接種します

○2回接種について

13歳未満の方は1回の接種では十分な免疫が得られない為、わが国では13歳未満の方の接種回数は2回となっています。

13歳以上の方が1回接種となっているのは、1回接種で国際的な評価基準を上回る十分な抗体価が認められたこと、抗体価の上昇について、1回接種と2回接種に差が見られなかったことによるものです。

○2回接種の間隔について

2～4週の間隔とされていますが、当院では3週間の間隔でご案内しております。

1. ワクチンの副反応について

主な副反応は接種部位の発赤（赤み）、はれ（腫脹）、痛み（疼痛）が接種者の10～20%に起こり、全身反応としては、発熱、頭痛、寒気（悪寒）、だるさ（倦怠感）などが接種者の5～10%に起こりますが、いずれも通常2～3日でなくなります。

その他、まれに接種後30分以内に出現するワクチンに対してアレルギー反応である、発疹、じんましん、発赤（赤み）

掻痒感（かゆみ）、呼吸困難等のアナフィラキシー様症状（じんましんや呼吸困難などの症状）やけいれんがみられることがあります。

その他、重い副反応としてギラン・バレー症候群、急性脳症、急性散在性脳脊髄炎、けいれん、肝機能障害、喘息発作、紫斑等が報告されています。

2. 予防接種を受ける前に

（1）一般的注意

気にかかることやわからないことがあれば、予防接種をうける前に担当の医師に質問しましょう。予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。現在、病気などで治療中の方、今までに免疫状態の異常を指摘されたことがある方、インフルエンザの予防接種を受けて具合が悪くなったことがある方、インフルエンザワクチンの成分や鶏由来のものに対してアレルギーがあると言われたことがある方は、担当医師とよく相談し、十分に納得してで予防接種を受けましょう。

(2) 予防接種を受けることができない方

- ① 明らかに発熱のある方（通常は 37.5℃を超える場合）
 - ② 重い急性疾患にかかっている方
 - ③ インフルエンザ予防接種の成分または鶏卵、鶏肉、その他の鶏由来のものに対して、アナフィラキシー（接種後 30 分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）をおこしたことがある方
 - ④ その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいといわれた方
 - ⑤ 過去に予防接種で接種後 2 日以内に発熱、全身性発疹などアレルギーを疑う症状がみられた方
- ※現在、病気などで治療中の方または下記病気や症状で治療を受けられた方は必ず申し出て下さい。**
- ・ 心臓、腎臓、肝臓、血液の病気などを有することが明らかな方
 - ・ 過去に免疫不全の診断がなされている方
 - ・ 薬や食べ物で皮膚に発疹やじんましんがでた方

3. 予防接種を受けた後の注意 ※予診票の副票は大切に保管してください。

- ① 予防接種を受けた後に急な副反応がおこることがあるので、接種後 30 分はその場で様子を見るようにし、30 分たってから診療所を出るようにしましょう
- ② 接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい
- ③ 接種当日は、体調の変化に気を配り、激しい運動や大量の飲酒は避けて下さい
- ④ 接種部位は清潔に保ち、入浴は問題ありませんが、接種部位をこすことはやめて下さい。
- ⑤ 接種後 1 週間は体調に注意しましょう。高熱、嘔吐、けいれん（ひきつけ）、接種したところのひどい腫れなどの症状がある時は速やかに蒲生厚生診療所（電話番号下記）にご連絡ください
- ⑥ 令和 4 年 7 月 22 日から新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンについてのみ、接種間隔に関する規定が廃止されました。

この説明書は、大阪市保健所作成のインフルエンザ予防接種ガイドラインと 65 歳以上の市民の方への「インフルエンザ予防接種のお知らせ」を参考に作成しました

対象者	回数	組合員	非組合員
65 歳以上の大阪市民の方	1 回接種	¥ 0	
65 歳以上の大阪市民以外の方		¥ 2600	¥ 3600
13 歳～64 歳		¥ 2600	¥ 3600
60 歳～64 歳の〈心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫〉の機能障害により日常生活が極度に制限される方（身体障害者手帳 1 級相当）		¥ 0（※対象者の方）	
小学生～12 歳	2 回接種（1 回あたりの費用）	¥ 2100	¥ 3100

生活協同組合ヘルスコープおおさか 蒲生厚生診療所
大阪市城東区蒲生 3-15-12 電話 06-6931-3807